

Ibaraki Association of Architects & Building Engineers

けんちく茨城

No. **81** February, 2013

〔特集〕

蘇った六角堂を舞台に天心の波瀾の生涯を描く
映画『天心』撮影完了！

〔報告〕

平成25年新春賀詞交歓会

〔建築作品紹介〕

日立市立大久保中学校



社団法人
茨城県建築士会

目次

	年頭のごあいさつ 社団法人 茨城県建築士会会長 柴 和伸	1
	顧問に聞く 田所嘉徳氏、白田信夫氏インタビュー	2
[報告]	平成25年新春賀詞交歓会	4
[特集]	蘇った六角堂を舞台に天心の波瀾の生涯を描く 映画『天心』撮影完了！ プロデューサー星加氏にきく	8
[建築作品紹介]	日立市立大久保中学校	10
[シリーズ]	先輩会員を訪ねて 菊池 一夫氏、小林 澄夫氏 インタビュー	12
[トピックス]	関根慎一副会長の「旭日双光章」受賞を祝って	13
[会員委員会報告]	木造建築構造技術者育成のための意見交換会	14

会報 **けんちく茨城**

2013年2月 第81号

発行 平成25年2月18日(年3回発行)

次回発行 平成25年6月12日予定

発行部数 2,750部

発行所 社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸

〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F

TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330

Eメール kyy05413@nifty.com

編集 情報・広報委員会

デザイン 有限会社平井情報デザイン室

印刷所 株式会社あけぼの印刷社

題字 橋本 昌 茨城県知事

表紙写真 日立市立大久保中学校

設計・監理 (株)三上建築事務所

所在地 茨城県日立市末広町5-12-34

建築面積 3,010.08㎡

延床面積 7,330.41㎡

構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

規模 地上3階建

撮影 堀内 広治

木造建築関連の活動を いっそう充実させる年に。

社団法人 茨城県建築士会

会長 柴 和伸



2013年の抱負を柴会長に語ってもらいました。

大成功に終わった全国大会

昨年10月に開催された第55回建築士会全国大会「いばらき大会」は、実行委員の方々、関係各位、参加者の皆さまの協力により成功裏に終了することができました。ここにあらためてお礼申し上げます。大会当日は晴天に恵まれ、全国各地より3000名を超える参加があり、全3日間の日程をすべて滞りなく進めることができました。一時は東日本大震災による被災により大会開催が危ぶまれたこともありましたが、困難な局面にあったからこそ会員が丸となり、開催県としてのもてなし、役目を果たすことができたのではないかと考えています。

政権交代後も厳しい経済状況

約3年半ぶりに民主党から自民党に政権が交代し、再び安倍政権となりその真価が問われる年となりました。円高、デフレ不況が長引くなか、政府は1月に入り「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を掲げ、復興の遅延、閉塞感が漂う状況からの脱却、強い経済を再生する政策を打ち出しました。公共事業の大型投資など、我々建築業界に身を置く者としては明るい兆しではありますが、急速な経済回復は望めず、こうした厳しい状況はしばらく続くだろうと予測されます。

この状況を乗り越えるためにも、会員皆で協力し問題点を解決する努力をしていかなければなりません。個々の事務所の仕事をいかに生み出すか、会員相互に知恵を出し合って現状に立ち向かっていかなければならないと思っています。

会の運営、今後の事業について

基本的には士会本来の広域的な使命、会員の皆さまに対する情報や研修の機会の提供など、役に立つ活動、事業の内容を整理し充実させて、高めていくことをこれからも継続していきたいと思っています。

なかでも、今年力を注いでいきたいのが、木造建築に関する事業等です。平成22年10月に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行されたことにより、国は、「低層の公共建築物は、原則としてすべて木造にしなければならない」という方針を定めました。これを受け、本会では昨年より、「木構造技術者育成講座」の開催、設計や木材、建築金物などに関わるメンバーで構成される「木造建築物協議会」の発足など、全国に先駆けた動きを始めています。今後も独自の講習会、見学会の開催などを企画していきます。また、建築士法、政省令等の改正に伴う情報、講習会の案内など常に新しい情報を、ホームページや発送物等により今後も会員の皆さまにお伝えしていきます。

会員増強について

廃業や経済的事情、会員の高齢化などにより退会者が増え、会員の減少が続いています。日頃から皆さまに新規加入者紹介をお願いしているわけですが、なかなか増加に至りません。士会の活性化のためには、新たな会員、特に若い会員の加入が必要不可欠であります。ぜひ皆さまのさらなる協力をお願いします。

本年が皆さまにとって幸多き年であることをお祈りして、年頭のあいさつといたします。

(聞き手＝情報・広報委員会 浅野 祐一郎、石黒 幸喜)



茨城県建築士会顧問・衆議院議員

田所 嘉徳 氏

**「建築士は、安全な建物を造るための番人。
しっかりとした構造強度を確保し、社会の
安全のために貢献するという役割が第一」**

Tadokoro Yoshinori

昨年末の衆議院議員総選挙で初当選を果たした田所顧問に、今年の抱負や建築士会への要望を伺いました。

——衆議院議員となりました。おめでとうございます。現在の率直なお気持ちをお聞かせください。

昨年の衆議院議員総選挙では茨城一区より出馬し、建築士会の皆さまの多大なご支援をいただきまして当選することができました。心より感謝を申し上げます。

昨年12月26日からの特別国会で安倍総裁が総理大臣に就任し、自民党が政権を回復することができました。そのようななか、全国から選ばれた議員が一堂に会し、現在の景気低迷からいかに回復するか、また遅々として進まない震災復興をいかに進めていくかなどについて、強い使命感と熱意を持って取りくむ気概を肌で感じました。私自身も山積する課題にしっかりと取り組まなければならないという思いを新たにしました次第です。

私は皆さまと同じ建築士であり、その視点から見れば“コンクリートから人へ”と言って、公共投資を抑制したことによって遅れてしまった「建物の耐震化」や「橋梁等の長寿命化」に力を入れる必要があると考えています。最近の笹子トンネルの事故はインフラの安全性の確保がいかに重要であるかを再認識させられるものです。

事前防災という意味からも、安全・安心な基盤の整備が重要であり、そのような投資は地域経済の活性化にもつながると考えています。

——建築士および建築士会が、今後めざすべき方向性についてお考えをお聞かせください。

建築士の役割としてまず重要なのは、安全な建物を造るための番人として、いかに災害に強い建築物を残して安全な社会づくりに貢献するかという姿勢を忘れないことです。震災直後に建築士がその専門的知識を生かして応急危険度判定等の支援を行ったことも大きな意味があります。

さらに、建築士が今般の震災における被害の特性の検証・分析をリードして、建物の安全性を確保するための方策を講じ、将来の備えに結びつける役割を果たすことも重要であると考えます。

——最後に若い建築士にアドバイスをお願いします。

東日本大震災では原発の事故によって電力供給が非常に厳しくなりました。このようなことから、建築物の省エネという観点も今後はいっそう重視しなければなりません。採風、採光、気密性、断熱を十分に考慮した建築物によってエネルギー政策へ対応できるような工夫が必要となります。夢を持って後世に残るような立派な建築物を造ろうとする若い建築士は、歴史的、社会的な仕事ができるということに誇りを持つべきであると思います。そしてその仕事がきちんと評価される社会になればと考えます。そのような社会づくりに向け、私も力を尽くしていく所存です。

(聞き手＝情報・広報委員会 谷島 正憲)

たどころ・よしのり

おもな経歴：下館青年会議所理事長／檢察審査員／
まちづくり市民財団理事／下館市議会議員／県議会議員
などを経て、現在は衆議院議員を務める。平成18年より
当会顧問に就任。一級建築士の資格も持つ。



茨城県建築士会顧問・茨城県議会議員

白田 信夫 氏

「技術者として腕を磨く一方で、
これからは異業種間交流を図り、
より人間としての幅を広げることも大切」

Hakuta Nobuo

昨年12月、第104代茨城県議会議員に就任された白田顧問に今年の抱負や建築士会への要望を伺いました。

——県議会議員就任おめでとうございます。現在の率直なお気持ちをお聞かせください。

大変光栄に思っております。いつかは議長になって、茨城のために働きたいと願っておりましたので、やっと長年の夢がかなったという達成感と共に、責任の重さを痛感しています。また、この重責において何を行うかが肝要で、300万の県民の皆さまが安全に、安心して暮らせるようにするにはどうしたらよいかを熟慮して、これからの活動を行っていこうと考えています。

——建築士および建築士会の現在の活動や今後めざすべき方向性についてお考えをお聞かせください。

顧問を引き受けた当時とは見違えるくらいに、活発な活動をしていると思います。私も建築士会に対して意見を言ってきましたし、建築士会の皆さまからいろいろな意見を聞くことが大変勉強になり、政治家として育てられたと思います。常に建築士会の皆さまと一緒に、県の建築行政の発展に向けて努力し、今後も建築という職能を使って、県民の皆さまがより良い生活ができるよう努力していきたいと考えています。

2011年3月の大震災においては、建築士会に応急危険度判定や住家の被害認定等の活動をしていただき、登録文化財の復旧工事に関しても、文化庁に対して、資金面での支援がなければ伝統的建築物群の存在自体がなくなってしまうという危機感を一緒になって訴

え、国より登録文化財・県指定文化財の被害額の4分の3の補助を受けることができました。普段からいかに地域に対して貢献できるか、災害のときにはさらに積極的な活動によって地域社会にいかに関与できるかが今後も重要でしょう。また常に自己研鑽と創意工夫と努力を行い、地域の人々から必要とされる建築士であり、建築士会を目指していくべきだと思います。

——最後に若い建築士にアドバイスをお願いします。

ひとつは、技術者として腕を磨くことも必要ですが、これからは異業種間交流を図り、人間としての幅を広げることが大切だと思います。違った世界の人々と交流を重ねることによって、新たな考えや仕事に出会うことができると思います。2011年の大地震のような災害があったときにも、異業種間交流をしていれば、さまざまな被災者の立場に立ち、かつ同じ目線で考えることができるようになると思います。

もうひとつは、建築材料として、県産材を、構造材や仕上げ材に多く使用してもらいたいと思っています。日本の住宅や建物の基本は木材です。木の持つぬくもりや香りは、気持ちを温かく豊かにしてくれます。ぜひ、建築士会の皆さまにもいっそう県産材を利用いただきたい。そのために条例や補助や助成金等で支援したいと思っています。（聞き手＝情報・広報委員会 軽部 守彦）

はくた・のぶお

おもな経歴：真壁町議会議員（3期）／茨城県議会議員（5期）、保健福祉・環境商工・総務企画・議会運営の各委員長／茨城県議会副議長、茨城県監査委員などを経て、現在、茨城県議会議員を務める。平成17年より当会顧問に就任。

平成25年 新春賀詞 交歓会

平成25年1月18日(金) 16:00～
水戸市・三の丸ホテル 4階「ステラの間」

[式次第]
開会の言葉／会長あいさつ／来賓あいさつ／
来賓紹介／乾杯／賀詞交歓／大抽選会／中締め



橋本 昌
茨城県知事



岡田 広
参議院議員



田所 嘉徳
衆議院議員／
本会顧問



白田 信夫
県議会議長／
本会顧問



高橋 靖
水戸市長／
本会顧問



石川 多聞
県議会議員／
(社)茨城県林業協会
会長



新谷 正義
衆議院議員



柴 和伸
本会会長

乾杯!



年の初めの恒例行事となった新春賀詞交歓会が、平成25年1月18日(金)、三の丸ホテル「ステラの間」で開催されました。今年は、来賓、正会員、賛助会員を合わせて300名が参加しました。

会は、関根副会長による開会あいさつで始まり、まず柴会長があいさつ。昨年10月に開催された第55回建築士会全国大会「いばらき大会」が、関係者の皆さんの協力により大成功に終わったこと、また12月の衆議院議員総選挙においては本会顧問である田所嘉徳議員が当選されたこと、政権が民主党から自民党へ変わったことをきっかけに、会としてもさらに良い年になるよう努めていきたいなど、年頭の抱負を述べました。

来賓あいさつでは橋本県知事、岡田参議院議員、田所衆議院議員、白田県議会議長、高橋水戸市長より、また、関係団体代表として石川県議会議員よ

り祝辞をいただきました。

新谷衆議院議員の乾杯の発声により、会場のあちこちで和やかで楽しい交流の図が繰り広げられました。会の後半には、賛助会員等から提供いただいた景品が当たる大抽選会が開催され、最後には液晶テレビが登場するなどして、大いに盛り上がりました。祝宴は盛況のうちに進み、武村副会長の中締めにより終了しました。

なかなか景気が良くならず、先の見えない、閉塞感が漂う年の幕開けではありますが、参加された方は皆さん元気で、笑顔が多く、明るい兆しが感じられる賀詞交歓会となりました。二度目の安倍内閣の今年、景気の回復を心から願い、会員の皆さんに幸多き年であることをお祈り申し上げます。

(報告＝情報・広報委員会)



「気を引き締めて、目標に向かって進んでまいりましょう」



「今年は明るくいぎしょう!」



「支部のメンバー同士、しっかりと団結していきますよ!」



「よい年にしていきたいですね」



「今年もどうぞよろしく!」



今年も、皆で力を合わせ、
前へ進んでまいりましょう。



「大きいっ! ありがとうございます!!」



「当たりました! 年始から幸先がいいです」



「いただきちゃいました♪」



「笑顔がいっぱい。たくさん笑える年にしましょう!」



平成25年 新春賀詞交歓会参加者名簿

*当日出席された方のお名前を掲載しています



ご来賓

茨城県知事	橋本 昌	(一・社)茨城県設備設計事務所協会会長	菊地 繁
参議院議員 自由民主党茨城県連会長	岡田 広	日本建築構造技術者協会茨城代表	斎藤 章
参議院議員	長谷川 大紋	茨城県行政書士会会長	國井 豊
衆議院議員 建築士会顧問	田所 嘉徳	(社)茨城県空調衛生工事業協会会長	小川 三郎
衆議院議員	新谷 正義	茨城県塗装工業組合理事長	鈴木 博巳
茨城県議会議員 建築士会顧問	白田 信夫	茨城県鉄筋業協同組合理事長	大平 時彦
水戸市長 建築士会顧問	高橋 靖	茨城県板金工業組合理事長	小野澤 保夫
茨城県議会議員 (社)茨城県林業協会会長	石川 多聞	(一・社)茨城県貯水槽維持管理協会会長	稲葉 貞幸
自由民主党茨城県連 参議院選挙区第一支部長	上月 良祐	茨城県管工事業協同組合連合会会長	横須賀 武士
茨城県土木部都市局長	立蔵 義明	(一・社)茨城県電設業協会会長	五十嵐 達男
茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長	大津 博之	(社)茨城県建設業協会専務理事	田山 寛治
茨城県土木部都市局住宅課長	江原 秀明	茨城県木材協同組合連合会専務理事	根本 学
茨城県土木部営繕課長	山田 茂	(社)茨城県水質保全協会副理事長	成田 浩明
水戸市都市計画部建築指導課 課長補佐	井原 孝志	(社)茨城県宅地建物取引業協会副会長	山西 庸義
日立市都市建設部建築指導課長	遠藤 弘	茨城県鐵構工業協同組合副理事長	北島 勉
土浦市都市整備部建築指導課長	坂本 淳	(社)茨城県消防設備協会副会長	瀬谷 利雄
(財)茨城県建築センターセンター長	内藤 初男	茨城新聞社代表取締役社長	小田部 卓
(社)茨城県建築士事務所協会会長	横須賀 満夫	(株)常陽新聞新社代表取締役社長	関野 一郎
(社)茨城県建築士事務所協会副会長	舟幡 健	日本工業経済新聞社水戸支局長	小泉 孝司
(社)茨城県建築士事務所協会副会長	小室 克己	日本建設新聞社水戸総局長	井上 哲郎
(社)茨城県建築士事務所協会副会長	河野 正博	(社)茨城県建築士会相談役	村田 省吾
日本建築学会関東支部茨城支所長	増澤 敬	(社)茨城県建築士会相談役	田中 實
(社)日本建築家協会関東甲信越支部茨城地域会長	天 茂彦		(敬称略、順不同)

正会員

北茨城支部	茅根 信男	鹿島支部	石橋 幸一	県央支部	小川 憲一
		〃	内芝 良吉	〃	小川 雅良
久慈支部	市川三 和子	〃	笹本 健次	〃	轡田 久恵
〃	梶 ひろみ	〃	中 蘭 薫	〃	工藤 恵
〃	藤 馨			〃	久野 正行
〃	藤井 耕市	県央支部	浅野祐 一郎	〃	倉田 章吾
		〃	安達 芳男	〃	小室 晶
高萩支部	鈴木 秀男	〃	荒川 芳和	〃	酒寄 光一
〃	棚谷 哲夫	〃	飯島 隆	〃	櫻井 充
〃	豆澤 時雄	〃	池崎 栄二	〃	椎名 康一
		〃	井坂 光宏	〃	篠根 玲子
日立支部	池田 剛	〃	石井 浩光	〃	柴 和伸
〃	石黒 幸喜	〃	石川 啓司	〃	関根 慎一
〃	桧村 三男	〃	石黒 洋子	〃	関根 貴雄
〃	菊池 積	〃	市毛 啓子	〃	瀬谷 和人
〃	小林 淳伸	〃	市毛 純一	〃	高槻 一雄
〃	斎藤 則夫	〃	一毛 裕之	〃	田中 健一
〃	清水 忠	〃	内山 一志	〃	田中 正巳
〃	富田 義光	〃	海老澤 司	〃	富田 正美
〃	松山 恒男	〃	遠藤 洋三	〃	富山 則行
〃	三澤 俊介	〃	大内 常男	〃	中崎 妙子
		〃	大槻 薫	〃	中山 眞矢
ひたちなか支部	大内 賢一	〃	大部 淳一	〃	沼田 弘次
〃	川又 晴彦	〃	大山 早嗣	〃	根本 勝義
〃	清水 洋一	〃	岡山 伸行	〃	根本 洋一朗



県央支部	塙 秀之	桜川支部	渡辺 清一	稲敷支部	依田 慎一
〃	塙 万治				
〃	早川 敏史	下妻支部	石川 節	北相馬支部	佐々木 一志
〃	平沼 清美	〃	軽部 守彦		
〃	古木 章	常総支部	岡田 一夫	筑波支部	相澤 晴夫
〃	松下 理	〃	杉田 次夫	〃	池島 裕
〃	丸山 好史	〃	高野 武	〃	潮田 浩
〃	盛田 周作	〃	田島 栄治	〃	潮田 充
〃	柳下 文江	〃	福田 明良	〃	大塚 益弘
〃	横須賀 孝			〃	岡野 芳徳
〃	李 相鉄	筑西支部	大和田 信雄	〃	沖山 哲夫
〃	和田 淳一	〃	小島 時夫	〃	小林 次夫
〃	渡辺 章夫	〃	郡司 政美	〃	齊藤 保弘
〃		〃	小葉 拓巳	〃	中泉 文夫
県庁支部	浅野 利光	〃	柴崎 清	〃	長瀬 行弘
〃	梅原 喜久郎	〃	柴 博美	〃	野口 克典
〃	小笠原 正裕	〃	中山 和朗	〃	長谷川 隆浩
〃	鈴木 勇	〃	谷島 正憲	〃	森田 三朗
〃	長谷川 幸正				
銚田支部	葛西 栄一	坂東支部	大久保 正男	土浦支部	青山 立美
〃	鎌田 富士夫	〃	菊池 一夫	〃	青山 洋子
〃	桐原 栄	〃	成島 金哉	〃	赤木 香菜子
〃	久米 恒雄	〃	増田 和夫	〃	赤木 裕子
〃		〃	森 均	〃	石坂 健一
古河さしま支部	加藤 誠洋	八千代支部	馬場 明義	〃	小神野 栄
〃	小林 澄夫			〃	久保田 綾子
〃	長塚 威	結城支部	小貫 広利	〃	櫻井 成郎
〃	根本 和也	〃	小谷野 栄次	〃	鈴木 啓之
〃	長谷川 正幸	〃	西木 照久	〃	高桑 茂徳
〃				〃	塚本 美明
桜川支部	飯島 一則			〃	豊崎 晋也
〃	飯島 洋省	石岡支部	久保田 吉文	〃	箕輪 勇介
〃	石島 隆	〃	島田 哲	〃	村松 勤也
〃	市村 洋	〃	和田 邦裕		
〃	鈴木 孝和	稲敷支部	児玉 欽司	龍ヶ崎支部	成田 孝成
〃	武村 実	〃	根本 浩司	〃	根元 正至
〃	古橋 明				

賛助会員

(株)アール・ネット	高 安 浩	(株)角藤水戸支店	村田 弘就	(株)根子左	豊田 一雄
〃	二本松 恭行	(有)カネミツ商会	小田 真吾	(株)日立ビルシステム	上野 拓範
I. T企画	岩瀬 敏夫	(株)関東エンジニアリングサービス	上野 道昭	〃	加藤 貴浩
(有)アカオギ塗工	赤 荻 弘	菊地設備設計事務所	横山 努	(有)平井情報デザイン室	平井 夏樹
暁飯島工業(株)	荻津 仁彦	(株)菊正塗装店	鈴木 章	深澤通信工業(株)	鷲尾 功治
〃	平塚 亨	(株)建築資料研究社/日建学院水戸校	海老澤 和久	(株)フジクリーン茨城	大竹 伸一
(株)安心確認検査機構	伊勢山 司郎	(株)建友	根本 学	〃	小澤 啓一
〃	舞木 善郎	コスモ総合建設(株)	池田 大輔	フジクリーン工業(株)	高畠 泰行
〃	大和 智	三の丸ホテル	荒井 勉	〃	福永 正文
茨城県ガス協会(東部ガス)	池田 達郎	(株)新栄電気通信工業	庄司 泰世	(株)フジタビジネスマシンズ	藤田 卓也
(財)茨城県建築センター	大 畠 勝	(株)新日東	鈴木 紀英	〃	宮部 正栄
〃	豊田 雄一	(株)総合資格	小林 丘仁夫	ホテルテラスザガーデン水戸	海野 勝人
〃	生田 目昇	〃	宮田 健一	前田製品販売(株)茨城支店	安藤 直哉
〃	野澤 謙次	高橋商事(株)	高橋 勲	三谷セキサン(株)茨城営業所	小山 秀人
茨城県林業種苗協同組合	大越 靖史	秩父ケミカル(株)	室伏 秀行	水戸プラザホテル	綿引 章博
茨城寺岡オートドア(株)	上田 庫由	筑波研究学園専門学校	大野 克典	ミナト防災通信工業(株)	林 克行
(株)インテグラル	木村 良行	TOTO(株)水戸営業所	竹内 裕之	横信建材工業(株)	横須賀 靖
植田防水工業(株)	栗原 信	(株)奈良屋	田中 邦彦	(株)LIXIL	兵 渉
(株)エスアールエスディービー社	小澤 康二	〃	横山 昌弘	リンナイ(株)	佐々木 雄一
〃	須藤 崇人	(株)西尾家具工芸社	内山 貴博	YKK AP(株)	中武 剛
〃	須藤 裕市	日本板硝子関東販売(株)	色川 正幸	和知商事(株)	石川 弘幸
(株)角藤水戸支店	中村 洋	〃	羽成 正光	〃	小野 芳文
〃	宮原 和樹	〃	渡辺 健二	〃	和知 紀良



岡倉 天心
(竹中 直人)

大工棟梁
小倉 源蔵
(市毛 純一)

なんと、本会
常務理事の市毛氏も、
大工の棟梁役で出演!!



写真左上：名優の隣に立つ市毛常務！ なかなか堂々とした佇まい。右上：映画では天心独特の服装も再現されている。左下：天心の弟子たちを個性派俳優の4人が見事に演じる。右下：五浦の海に小舟を出しての撮影も行われた。



横山 大観
(中村 獅童)

下村 観山
(木下 ほうか)

木村 武山
(橋本 一郎)

菱田 春草
(平山 浩行)



映画 天心 撮影完了!

蘇った六角堂を舞台に
天心の波瀾の生涯を描く

プロデューサー星加正紀氏にきく



星加 正紀 (ほしか・まさき)

映画『天心』製作委員会・プロデューサー。東京都生まれ。成城大卒。日本無線株式会社を経て不動産会社を経営。松村監督は、成城大学映画研究部の後輩にあたる。その縁で、今回映画製作に参画した。

映画『天心』の撮影が、昨年末に無事完了！
撮影時のエピソードや公開予定などを
星加プロデューサーに伺いました。

——クランクアップおめでとうございます。現在の率直な感想をお聞かせいただけますか。

星加：4年前に茨城県で準備を始めた頃は、県内の事情が右も左も分からず、とにかく多くの人にお会いして、お話を聞いてきました。映画『HAZAN』や映画『桜田門外ノ変』に関わってきた方々の経験や知見、そして『天心・六角堂プロジェクト』以来全面協力をいただいていた茨城大学や茨城県建築士会ほか、県内のたくさんの方の応援がなければ撮影は不可能でした。その後、天心と大観、春草、観山、武山が活躍した五浦の日本美術院のオープンセットを地元北茨城市に建てていただき、「これで映画ができる」と確信しました。「人とのつながり」によって、『天心』が実現化したとあらためて感じています。

——撮影中の様子を教えてください。

星加：天心役の竹中直人さんが、とにかく素晴らしいの一言です。「ああ、天心が生きていれば、こ

んな人だったんだろうな」と思わせる凄さがあります。その竹中さんを中心に据え、大観役の中村獅堂さん、春草役の平山浩行さん、観山役の木下ほうかさん、そして武山役の橋本一郎さんが、4人の弟子として生き生きと躍動しはじめるのです。「役を作るのではなく、そこに存在していることが大切なんだ」と撮影の合間に竹中さんがおっしゃっていましたが、別の日に同じ趣旨のことを大観役の中村獅堂さんも言っていて、本当に驚きました。天心と弟子たちが五浦の地に降りてきているのではないかというような錯覚に陥ったほどです。

——監督の松村さんには、昨年10月の建築士会全国大会で、茨城会セッションに登場いただきお世話になりました。撮影が完了し、監督も安堵されていることでしょう。

星加：松村監督は、企画立案者であり脚本も手がけ、かつ支援の呼びかけに4年間、県内をくまなく走り回りました。この作品をもっともよく知る人物であり、作品をもっとも愛している人間です。多くの業務を抱えながらも、最後まで演出に集中して「松村組」をまとめていました。監督にとって、代表作となる素晴らしい作品になったと思います。

——撮影にあたり、予想外の出来事がありましたか。

星加：昨年11月末にクランクインしてから、関東地方にも寒気が入り込み、寒さで体調を崩すスタッフが続出して戦列を離れたのは想定外でした。幸い「松村組」のスタッフは若手が多かったので回復も早く、後半は多くが戦列復帰できたので事なきを得ました。良いほうの想定外としては、もっとも天候に左右されると考えていた「竜王丸」(天心が発案した釣舟で、天心が愛用していた)の海上シーンです。冬場の太平洋に小舟を浮かべての撮影で、天候が気がかりでしたが、地元の船舶アドバイザーの予想どおり、撮影初日に絶好の天気となり、よい絵が撮れました。また、「観月会」のシーンなどのエキストラ参加や、キャスト・スタッフへの炊き出し・差し入れを、北茨城市民をはじめ県内外の多くの方々に協力いただいたことは、想像を超えるうれしさでした。

——今後のスケジュールを教えてください。

星加：6月頃までに編集を仕上げ、音楽も入れて、公開準備を始めたいと考えていますが、その資金が不足しています。監督やスタッフが皆様のご支援を仰ぎ、たびたび茨城にお邪魔することになりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

松村克弥監督プロフィール

1963年生まれ。毎日映画社在籍時に、『今、なお苦悩は続く……土呂久公害70年』で毎日映画コンクール・ニュース短編部門のグランプリを受賞。その後フリーに。平成4年度ヨコハマ映画祭新人監督賞に輝いた『オールナイトロング』は、全編を貫く過激な描写で話題を集めた。映画『天心』製作の傍ら、六角堂再建の克明な記録も自ら撮影・製作し続け、その一部は建築士会全国大会でも披露されている。



映画『天心』の製作経緯とあらすじ

近代化が押し寄せる明治の時代に、日本の美を「再発見」し、革新を極めた新たな日本画を生み出そうと苦闘する岡倉天心(竹中直人)と横山大観(中村獅童)、菱田春草(平山浩行)、下村観山(木下ほうか)、木村武山(橋本一郎)ら若き弟子たち。彼らそれぞれの心に渦巻く激しい

市毛純一常務理事の話

本会の六角堂再建支援委員長を務めさせていただいたご縁から、六角堂を建てた大工棟梁、小倉源蔵役で出演することになりました。岡倉天心(竹中直人さん)が平面図を見ながら棟梁に、「床の間はここがいいか! 出窓はここか!」という場面でしたが、竹中さんからはそこに居だけで一流の役者のオーラを感じました。もちろん初めての経験でしたが、案外落ち着いて行うことができました。秋の封切りが楽しみです。



葛藤と深く熱い師弟愛を、横山大観の回想のかたちで描いていく。撮影は、行政、大学、企業、美術界や市民団体などで構成される『天心』映画実行委員会の支援を受けながら進められ、昨年末ついにクランクアップ。天心生誕150年・没後100年目の年となる今年秋に公開予定。

日立市立大久保中学校

既存建物の軸線を手掛かりにした
学校施設の再構成が
学びの場に秩序を創り出す



撮影：堀内 広治 (p10-11)

与条件

大久保中学校はなだらかな傾斜地の途中に位置する、1学年6クラスという大規模な中学校である。教育目標として、「自ら学ぶ想像力のある生徒を育てる」「おもいやりの心を持ち実践力のある生徒を育てる」「心身ともに健康でたくましい生徒を育てる」が掲げられている。

敷地は中学校としては必ずしも広くはない。敷地面積は1.2haほどに留まり、しかも造成しきれなかった高低差も残る。そこに、昭和30年代後半に建設された鉄筋コンクリート造の校舎を皮切りに40年代はじめにかけて生徒数の増加に伴って2棟の校舎を増築し、さらに体育館が建設された。その結果、運動場を矮小化させ、無秩序な様相を呈することとなっていた。

要求事項は、校舎群のうち最も新

しい西側の1棟と校舎よりも1段高い位置に建つ体育館を維持し、既存校舎の大規模改修とともに増築を加えて、学校施設の再構成を図ることであった。その既存校舎と体育館とは約7度の微妙な角度をもって建っていた。

設計目標の設定

校内施設の諸問題を解決するとともに、これからの教育に対応した施設とすること、地域との望ましい関係を築くこと、運動場の広さを確保することを前提としながら、学校としての秩序を形成することを目指した。

配置計画

増築校舎と既存校舎との一体化を図ることを前提とし、校舎全体をできるだけコンパクトにまとめることとした。

既存校舎と体育館が創り出す微妙な角度をもつふたつの軸線を手掛かりとして、南側は体育館と平行に、北側は既存校舎と壁面線を合わせるようにし、V字型に増築校舎を配置した。北側隣地への日影の影響を最小限に留めながら、敷地の有効活用を図った。

校舎北側に生まれた空地进行を駐車場とし、生徒用の校門とは別に入口を設けて歩車の明確な分離を図り、安全な校内環境を目指した。運動場は200mトラックを描くことができる中学校としての必要最小限の広さを確保した。

校舎の構成

校舎は3階建てとし、各階の床レベルは既存校舎に合わせた。

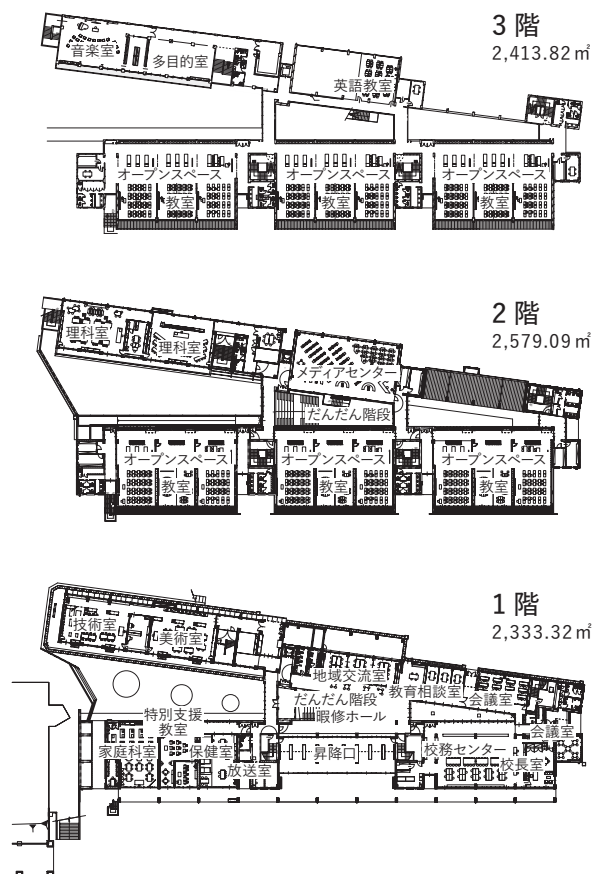
普通教室群は、6つのクラスを3クラスずつ2層に重ねて学年ゾーンを形

日立市立大久保中学校

設計・監理 (株)三上建築事務所
所在地 茨城県日立市末広町5-12-34
建築面積 3,010.08㎡
延床面積 7,330.41㎡
構造・規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、
地上3階建



上：普通教室とオープンスペース／下：暇修ホール



成し、3つの学年ゾーンを運動場に面する南側に配置した。既存校舎は特別教室に改造し、それに連続する北側に比較的小さな諸室を配置した。

南側と北側にリニアに並ぶ諸室群の間に、3層吹抜けのホールを設けた。この学校の中心となる空間とするとともに、校舎の中央部分に採光・通風をもたらす機能をもたせた。かつてこの近くにあった暇修館にちなんで「暇修ホール」と命名した。

外観のデザイン

3教室が2層に重なる学年ゾーンをそのまま外観に表出させた。その表層は、転落防止柵であり、夏季の熱負荷を軽減する日除けであり、冬季の直射日光を制御するスクリーンであり、運動場と近接することに配慮した防球ネットの役割を複合させた有孔折板で覆った。3つの単純な

量塊が浮遊する様相を生み出した。

学校建築について思うこと

誤解を恐れずにいえば、日本の学校のフォーマットは明治時代と基本的には変わっていない。南側に教室が並び、その北側を廊下が結ぶ。その形式は、昭和20年代後半から普及し始めた鉄筋コンクリート造の校舎において強固なものとなった。管理する自治体も、学校の先生方も、設計する我々もそのような校舎が経験値として強く刷り込まれている。そして、教育の多様化や生徒児童の生活空間としての校舎が唱えられて久しい現在にあっても、大多数の人の経験値にある学校のフォーマットを踏襲している。

南に面することによって、夏は強い日射に晒され、冬季の午後には直射日光に耐えられなくなる。結果、

カーテンを閉め切り、昼間から躊躇なく電灯を点灯する。それでは、エネルギー消費は軽減されない。

学校を普及させるために採用されたローコストの手法は、社会ストックであるはずの公立学校の寿命に大きく影響を及ぼす。結果、かつて永久校舎と呼ばれた鉄筋コンクリート造の校舎は木造校舎よりも早く寿命を認定されることとなっている。

さらに、少子化が追い打ちをかける。正確な数字は承知しないが、毎年廃校になる学校は全国的にみれば相当数に及ぶだろう。そのような視点に立てば、学校として計画された建築がその終焉まで学校である保証などない。公共施設が社会のストックであるとするならば、学校がその役割を終えた後までを視野に入れて考えなければならないはずだ。

(三上建築事務所 益子 一彦)

士会会員として長きにわたり活躍されてきた先輩方を訪問し、お話を伺うコーナー。第19回となる今回は、昭和47年入会の菊池 一夫氏、小林 澄夫氏の両氏にお話を伺いました。



「好きな言葉は“真実一路”。生涯現役を貫くつもりです」

菊池 一夫 氏 (坂東支部)

昭和14年生まれ／昭和47年入会／会員歴40年

【主な経歴】 昭和14年生まれ、入会は昭和47年ごろ。東京で生まれ、7歳ごろまでを過ごしたのち、小学1年の時に現在の坂東市(旧岩井町)に移る。地元の中学を出て、岩井支部長歴任者でもあった古谷氏の下で大工修行をし、その後独立。菊池建築設計事務所を開設して、現在に至る。現在も、木造建築を主として、社員とともに設計及び施工業務に携わる。坂東支部においては、副支部長を務め、増田支部長を支えながら各活動を牽引する。生涯現役を目指す、アクティブで気骨あふれる先輩会員。

——会の活動で印象に残ることを教えてください。

毎年、市内で行われる「子供フェスティバル」で木工教室を共催し、子供たちに木材の良さ、ものづくりのおもしろさを教えることが楽しみのひとつです。また、去年は全国大会「いばらき大会」に参加し、良い思い出となりました。何か記念となるタイピンなどが提供されたら、より良かったですね。

——趣味として続けていることはありますか。

山野草の観察です。また、健康維持のため毎日50分ほど歩いています。好きな言葉は「真実一路」。生涯現役で貫くことができればと思っています。



「つねに自分らしく生き、夢を実現していきたい」

小林 澄夫 氏 (古河さしま支部)

昭和21年生まれ／昭和47年入会／会員歴40年

【主な経歴】 昭和21年古河市(旧総和町)生まれ。入会は昭和47年ごろ。昭和49年に、繁建築設計事務所を設立する。建築士会では、さしま支部と合併する前の古河支部長を2年間務め、支部の合併に当たっても尽力した。現在は本部理事として会の発展に貢献し、平成22年には全国大会連合会表彰も受賞。また、耐震診断への興味から、平成12年より住宅の簡易診断および耐震精密診断を実施、平成16年の改定後は一般診断法(全能版／興味のある方には無償提供)を実施。行政にデータ提供も続けている。興味あることは徹底して希求する、学究肌で知られる先輩会員。

——趣味として続けていることはありますか。

私は非常に多趣味なんです。昆虫採集は、埼玉昆虫談話会検索会員となっていて、とくに蝶とトンボの標本を多数持っています。ほかに囲碁や釣り、歴史、プログラミングなど、いろいろやっています。

——後輩会員へのメッセージを。

私のモットーは、「自分らしく生き、夢を実現すること」。資格がステータスとなる時代は終わったと思います。今後は、それぞれの建築士が、自分が本当にやりたいことを見極めてそこに向かって邁進し、建築士会自体も、会員となることのメリットをいっそう明確に創出していく必要があると思います。



天研修委員長から花束贈呈

関根愼一副会長の 「旭日双光章」受章を祝って

平成24年12月3日(月) 水戸市「中川楼」

平成24年秋の叙勲において、本会副会長である関根愼一氏が、長年にわたり本会の事業活動に尽力した功績が評価され、旭日双光章を受章。その祝賀会が、平成24年12月3日、水戸市の「中川楼」にて行われた。当日は、柴会長をはじめ、武村副会長、高槻常務理事ほか、建築士会の有志が発起人となり、また、建築士事務所協会からも横須賀会長、舟幡副会長、小室副会長、河野副会長も参加され、大勢の方々と関根氏の受章をお祝いした。関根副会長からは、「今回の受章を心から嬉しく思っております。長年にわたり私に対し支援・協力して頂いた多くの会員の皆さまに感謝とお礼を申し上げます」との謝辞が述べられた。今後ますますのご活躍をお祈りします。

ニセ建築士をなくそう

国土交通省により発表されたニセ建築士は全て紙の免許証を偽造していました。(2012年7月11日・9月4日 報道発表)
依頼主との信頼関係を深めるため、カード型免許に切替え・提示しましょう。

わたしたちは
**カード型免許への
切替え、
提示の普及活動を
すすめます**



カード型免許証明書は

ICチップ内蔵により、
偽造・変更が
極めて困難です

顔写真入りで、
契約時の信頼性が
高まります

建築士会
CPDカード*
としても使えます



*建築士会CPD制度に参加している建築団体・企業が主催する講習や研修などで、ICカードリーダーにタッチすることにより、出席記録、単位登録ができます。

(公社) 日本建築士会連合会・都道府県建築士会



木造建築構造技術者育成のための 意見交換会開催される

平成 24 年 11 月 28 日(水) 建築会館会議室

平成 22 年 10 月に、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行され、国は「低層の公共建築物は、原則としてすべて木造にしなければならない」という方針を定めた。これに伴い、茨城県建築士会が中心となり全国に先駆け動き出した。昨年は「木造建築構造技術者育成講座」を 5 回開催し、さらに建築設計や木材、建築金物などに関わるメンバーが、お互いの立場を越えて議論する協議会として「茨城県木造建築物協議会」を立ち上げ、昨年 11 月 28 日に建築会館会議室において第 2 回目の意見交換会が行われた。協議会の主な活動は、次の通り。

- ①木材の利用をスムーズに図るための情報交換
- ②建築士の木材に対する意識高揚
- ③木造建築物の構造設計、技術者の育成
- ④行政を巻き込んだ情報交換
- ⑤各関係者とのネットワークの構築
- ⑥建築士会が中心となり情報収集、会員に PR を行うなど。

本年度の主な活動としては、木材の加工工場、建築金物製作工場、木材を利用した公共建築物の見学会の開催および昨年に引き続き木造構造設計者の養成講座等を開催する予定です。



総合的な基礎専門会社である、【ジャパンパイル株式会社】は、
複雑な地盤と建物条件に応じた最適な杭基礎工法をご提案いたします。

ジャパンパイル株式会社

東関東支店 〒260-0013 千葉市中央区中央 3-9-16 (三井生命千葉中央ビル 7F)
TEL.043-202-4191 FAX.043-223-6552 <http://www.japanpile.co.jp/>
東京本社・北海道支店・東北支店・関東支社・中部支社・関西支社・西部支社

Smile & Happy

安心で快適な「まちづくり」のために

- 業務の区域 ・茨城県全域（本部事務所、つくば事務所 各々茨城県全域を扱います）
- 業務の範囲 【1】. 階数が3以下かつ延べ面積が500平方メートル以内の建築物の確認及び中間検査・完了検査。
（構造計算適合性判定を必要とするものを除く）
【2】. 【1】と同一敷地内に築造される建築基準法施行令第138条第1項第5号に掲げる工作物（擁壁）の確認及び完了検査
- 事業概要 ・建築物の確認検査業務
・フラット35適合証明業務（新築・中古）
・住宅性能評価業務 [設計・建設（新築）]、長期優良住宅技術的審査業務
・エコポイント窓口取次ぎ業務
・住宅瑕疵担保保険業務

茨城県知事指定確認検査機関

株式会社 安心確認検査機構

【水戸本部事務所】 〒310-0805 茨城県水戸市中央1-8-17
TEL 029-224-8522・FAX 029-224-8666 E-Mail mito@ansin-k.jp
【つくば事務所】 〒310-0805 茨城県つくば市今泉228-3
TEL 029-838-5200・FAX 029-838-5577 E-Mail tsukuba@ansin-k.jp
<http://www.ansin-k.jp/>



株式会社 市毛建築設計事務所

代表取締役 市毛 純一

〒311-4152 水戸市河和田2丁目2190-7
TEL 029(253)1331 / FAX 029(253)3511
E-mail: j-ichige@sunshine.ne.jp

株式会社 共和

本社 TEL 029-291-4121
茨城県水戸市吉沢町569-82

東京営業所
東京都足立区舎人2丁目3番1号

リサイクル工場
茨城県東茨城郡茨城町大字
小幡字安塚2240-3



羽田空港整備地区再編工事

豊かさへのかけはし



品質保証の国際規格 ISO 9001 認証登録

ISO9001認証登録



JQA-QM5986

総合建設業 多賀土木株式会社

代表取締役社長 松 山 昭 彦

本 社／日立市東多賀町 2-2-3

TEL 0294(36)0111

FAX 0294(32)0040

高萩営業所・ひたちなか出張所

平成24年度 1級建築士 設計製図試験

全国 合格者
占有率

No.1

37都道府県での
開講にもかかわらず
全国の合格者の半数以上が
当学院現役受講生!



全国合格者占有率

51.7%

全国合格者合計4,276名中
当学院現役受講生2,211名

他講習
利用者
+
独学者

当学院
現役
受講生

※東京都合格者数は、(財)建築技術教育普及センター発表の受験番号より算出。※占有率および合格者数は平成24年12月20日に判明したものです。
※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。

平成24年度 2級建築士 設計製図試験

新試験となった2級建築士設計製図試験において、当学院の「分析力」「対応力」を含めた講習システムの良さが実績として証明されました!!

当学院設計製図合格対策コース
当学院基準達成現役受講生
合格率

85.2%

8割出席・8割宿題提出・模擬試験ランク1 現役受講生 1,118名中/合格者 953名

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

1級建築施工管理技術検定

平成24年度 学科試験

当学院基準達成
現役受講生 合格率

97.7%

8割出席・8割宿題提出現役受講生 256名中、合格者 250名

平成23年度 実地試験

当学院基準達成
現役受講生 合格率

83.2%

9割出席・9割宿題提出・模試基準達成現役受講生 184名中、合格者 153名

平成25年度 受験

1級・2級建築士/1級建築施工管理/1級土木施工管理/宅建

無料 願書取り寄せサービス

総合資格学院では、「受験願書」の無料取り寄せサービスを実施しております。毎年ご好評をいただいている本サービスは、本人はもちろん、友人・知人取りまとめでのお申込みもできますので、是非ご利用ください。

※詳しくは、下記最寄校までお気軽にお問い合わせください※



実績が証明した、当学院講座の品質。ぜひ、体験してください。

開講講座 無料体験入学実施中!!

1級建築士

2級建築士

1級・2級建築施工管理技士

1級土木施工管理技士

宅地建物取引主任者

インテリアコーディネーター



総合資格学院

www.shikaku.co.jp

総合資格

検索

つくば校

つくば市天久保 4-5-12

TEL.029-860-3771

水戸校

水戸市白梅 1-1-17 水戸NK第一ビル 5F

TEL.029-300-4721



三上建築事務所

www.mikami-arc.co.jp

本社
東京事務所
九州事務所
茨城県水戸市大町三丁目4番36号
東京都千代田区岩本町二丁目4番5号 インスタイルスクエアS0407
佐賀県佐賀市駅前中央三丁目14番31号 サンフールト[®]佐賀401号

TEL 029-224-0606 FAX 029-226-3778
TEL 03-3864-8090 FAX 03-3864-8091
TEL 0952-37-7630

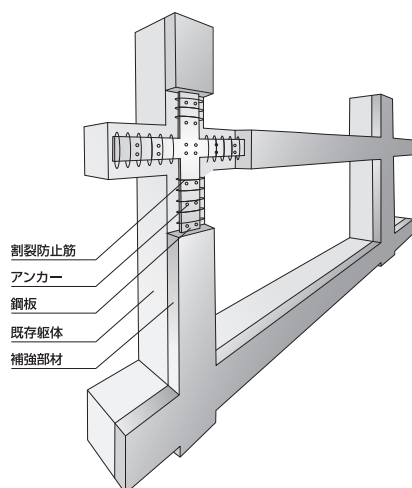
外観の変化が少なく、外からだけで 施工ができる耐震補強

ピタコラムフレーム工法

補強前



補強後



建物の外観を損なわず居ながら工事ができるので、この工法を選びました。

内部工事が発生しないので、テナントへの影響も少なくて済み、大変満足しています。



建物所有者

外壁と敷地境界との空間が狭いことから、補強部材の厚さが薄く、施工時のスペースが最小限に済む工法を採用しました。

また、補強体を既存建物の柱梁部分に取り付けるだけでなく、方立壁部分にも補強間柱という形で設置することにより、限られたスペースの中で効果的な補強計画を実現することができました。

結果、補強前と補強後では外観がほとんど変わらず、綺麗な納まりになったと思います。



設計者



矢作建設工業株式会社

www.yahagi.co.jp

本社 / 〒461-0004 名古屋市東区葵 3-19-7
東京支店 / 〒104-0043 東京都中央区湊 2-2-5
TEL: 03-3555-3611 FAX: 03-3555-3610



建築と住まいのことなら！

財団法人 茨城県建築センター

住まいづくりに関する手続きを一元的に扱っています。
迅速な対応とともに、サービスの提供として次のことを行っています。

- ☆ 当センターのご利用の多いユーザーには
『**建築確認手数料の後納制度**』があります。
- ☆ 『**レターパック等にて確認申請**』を受付けております。
確認引受書と併せて新しいレターパックを返却させていただきます。

1 建築確認・検査業務

業務の範囲

- 全ての建築物の確認、中間検査及び完了検査
- 建築設備の確認及び完了検査
- 工作物の確認及び完了検査

完了検査率アップ！
検査済証は適法建築物の証です。

2 住宅瑕疵担保責任保険業務

- まもりすまい保険（統括事務機関）財住宅保証機構
- あんしん住宅瑕疵保険（取次店） ㈱住宅あんしん保証
- JIOわが家の保険（取次店） ㈱日本住宅保証検査機構
- ハウスプラスすまい保険（取次店） ハウスプラス住宅保証㈱

3 証券化支援事業業務



- 住宅金融支援機構の融資住宅による設計審査・現場審査業務

4 住宅性能評価業務

住宅性能評価制度のメリット

- 住宅の性能の相互比較が出来ます
- 設計どおりの施工がされるよう第3者機関（当センター等）による検査が受けられます
- 円滑・迅速で専門的な紛争処理が受けられます

5 長期優良住宅の認定に係る審査業務

- 長期優良住宅建築計画の技術的審査業務

6 低炭素建築物の認定に係る審査業務

- 低炭素建築物新築等計画に係る技術的審査業務

7 構造計算適合判定業務

- 全ての建築物の適合判定業務

8 住宅・建築の相談業務

- 住宅・建築に関する相談のできるコーナーを本部及び県南事務所に設けています
- 毎週第1・第3土曜日10:00～16:00(12:00～13:00 昼休み)



<http://www.ibakenju.or.jp/>

お問い合わせは



財団法人 茨城県建築センター

※営業時間／午前9時～午後6時まで（第2・4・5土曜及び日・祝日を除く）

■本部事務所（水戸市）
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30
TEL.029-305-7300 FAX.029-305-7310

■県南事務所（つくば市）
〒305-0035 茨城県つくば市松代1-18-1
TEL.029-860-8088 FAX.029-860-8090

■県西事務所（古河市）
〒306-0126 茨城県古河市諸川1064-1三友ビル5F
TEL.0280-75-2600 FAX.0280-75-2603

社団法人 茨城県建築士会 会員の皆様へ

迎春

新春を迎え、平素のご厚情に深くお礼を申し上げますとともに
会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。
本年もどうぞ宜しく願いいたします。

平成25年 1月

財団法人 茨城県建築センター

会長 柴 和伸
職員一同





設計 & 監理

株式会社 柴 建築設計事務所

水戸市泉町3-1-28 第二中央ビル7階

TEL.029-227-0222[代]

FAX.029-231-0960



日立市立大久保中学校（夕景）



社団法人
茨城県建築士会

<http://homepage1.nifty.com/ishikai/>